

先週のある日、横須賀中央からの帰り、停留所でバスを待っていました。

駅の方角から大きな話し声らしきものが聞こえてきました。まだ明るい時間、酒に酔っているのではなさそうです。次第に近づいてきます。見ると、男女四人が横に広がり、絡み合うようにもつれながら歩いています。みんな若い人です。その中の一人の女性は特に千鳥足。倒れそうになったりしながら両脇から支えられ、大きな声を発しています。

その女性はタバコを吸い、気持ちよさげに笑いを交えて声を上げています。

酔っぱらいの声なら、内容が多少は判ります。しかし、この時の大声は、何もわかりませんでした。パチンコ店の前から文房具店の前へと進んで行きます。空気が変わりました。

初めて嗅ぐ匂いです。いがらっぽい、酸っぱいようなにおい。誰かの声が耳に入りました。

「マリファナだよ」、「大麻草じゃないの？」
ああ、そうなんだ。どちらにしても初めてのこと。初めての体験でした。

禁止薬物は、昔々親しい友人から勧められたことがあります。

「君なら中毒にはなりっこないから、大丈夫」。
「全然、その気はない。自分の弱さを知っているから、ご辞退するよ」。池袋駅前を歩きながらの会話でした。彼は、たいへん強い人です。彼は中毒になるようなことはなく、自分の経験から中毒患者の指導に当たっていました。

早くに牧師を引退しました。残念なことに、すでに彼岸の人となっています。

精神神経科の赤星進先生には、いろいろとお世話になり、お教えいただきました。しかし、「禁止薬物を試してごらん」とは言われませんでした。私の弱さをご存じだったのでしょう。

多くの人は、好奇心と自分の強さに対する自信から手を出して泥沼に落ちるようです。